

2012年度第6回多摩デポ理事会

- 1 日 時：2013年2月5日（火） 午後6時30分から午後9時30分まで
- 2 場 所：国分寺労政会館第2学習室（国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：8名
出席者：座間直壯、平山恵三、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、矢崎省三、吉田徹
（事務局：堀渡、吉田光美）
- 4 報告及び協議事項
 - (1) 第1号議案 会員の動向について【報告】
 - ・1/23現在 正会員105名3団体 賛助会員43名2団体 計153名・団体
 - ・2/5現在会費納入率 85.6%（正会員87.0% 賛助会員82.2%）
他に11年度分正会員2 賛助会員3 13年度分正会員1 賛助会員3)
 - ・会費未納者へは、通信25号送付時に個別に納入お願いを行った。
 - (2) 第2号議案 多摩デポ関係記事について【報告】
 - 【多摩デポ記事】 特になし
 - 【共同保存図書館記事】 特になし
 - ※ 類縁機関の関連情報
「福岡共同公文書館」11月18日開館
福岡県と市町村（政令指定都市を除く）の一部事務組合「福岡県自治振興組合」が運営協議会を設置して共同で運営。
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/f17/kobunsyokan-open.html>
 - ・会員が各種媒体に共同保存図書館をテーマとして執筆したら、掲載されたものと最終稿のデータを事務局に納本する制度を確立したい。
 - ・これまでの「多摩デポ通信」や講座関係資料等の事務所ファイルもきちんと整備したい。
 - (3) 第3号議案 図書館資料の里親探しについて【報告】
 - ・事務所に保管中の参考図書等と全集の里親探しを開始。
各図書館へ通信25号送付時に案内を同封(参考図書等78冊、全集280冊)。
申込締切2/13。希望多数タイトルは抽選で決定し、2月下旬に結果通知、3月中に配達予定。
ホームページにもリストをアップ予定。
 - ・1/31現在2自治体より申し込みあり。
 - (4) 第4号議案 除籍と資料保存の研修会について【報告】
 - ・11月29日、事務局で調布の小池館長（館長会会長）を訪問、情報・意見交換をしたあとは、まだ動きがない。
 - ・次回の館長会は2月に開催されると思われるので、来年度のスケジュールに組み込んでいただけるよう、事務局長から小池館長へ連絡して再度お願いする予定。
 - (5) 第5号議案 多摩デポ通信25号の発行について【報告】
 - ・1月23日発行、発送 多摩デポ講座チラシ、会費未納者へのお願い・振込票同封
 - (6) 第6号議案 東日本大震災支援活動について【報告】
 - ・陸前高田市立図書館のレスキュー資料は、第4期に向け、関係各団体（岩手県立図書館、国立国会図書館、日本図書館協会、盛岡大学）が、12月14日(金)に岩手県立博物館で第3期の成果物と原本

の現状を確認し打合せを行った。今後の資料の扱いについて、1/22に岩手県立図書館が陸前高田市立図書館へ考えられうるいくつかの選択肢を提示、陸前高田市立図書館の意向を尊重して今後決定されることになる（陸前高田市の決定まち）。

→多摩デポが第4期以降にかかわる形にはならないと思われる。

・現時点で、その他の図書館からの支援要請のうち多摩デポが必要とされるような内容のものは出て来ていない。

・矢吹町図書館から、建物内外の修繕も終了し、来館者も震災前に戻ったとお礼メールあり。

・福島県原発災害による立入制限区域の状況 → 文化財、公文書の一部はレスキューされたが、図書館資料は手つかずの状態。

・陸前高田市の図書館の現状は → BMでサービスを続けていたが、12/1に仮設図書館がオープンした。他に民間で「ちいさいおうち」「にじのライブラリー」「陸前高田コミュニティ図書室」が活動している。

(7) 第7号議案 都立・館長会（多摩図書館大会を含む）について【報告】

・多摩地域公立図書館大会 2/5(火)～2/7(木) 国分寺市立いずみホール

「被災地の図書館に復興の光は一復旧から復興へ」

※期間中、日本図書館協会東日本対震災対策委員会が「陸前高田市立図書館郷土資料救済支援活動」（多摩デポも参加した活動）の展示を行う

(8) 第8号議案 ホームページの充実、メーリングリストの活用について【報告】

・ホームページ：新たに購入したホームページソフトで、ひな形に合わせて作りなおしつつある。

・メーリングリスト：10/26の始動以降、まだ事務局メンバーからすこしずつ発信がある程度。会員相互の活用を促したい。

(9) 第9号議案 第16回多摩デポ講座及び今後の講座について【協議】

【第16回講座】

映画「40万冊の図書」の監督に聞く ～疎開させ空襲から本を守った事跡を追う～

日時：2月16日（土）午後2時～4時30分

会場：八王子クリエイトホール 11階視聴覚室

参加費：500円 定員：50人先着順（事前申し込み優先）

【次回以降案】※次回17回講座は総会記念講演会の後

共同保存図書館実現のための現状の検証会

→ 除籍と資料保存の研修会との関連もあり、館長協議会の様子も見ながら準備を進める。

(10) 第10号議案 V-depo-TAMAの今後について【協議】

前回講座講師の堀越氏にアドバイスをもらうため、12/14にお会いした。堀越氏からは、国会図書館やカーリルなど外部の動きがいろいろ出ているので、多摩デポで労力を独自にかけていくのが気になる部分であるとお話があり、堀越氏が実態調査をしてくださることになった。後日あらためて堀越氏の見解をお聞きする予定。

(11) 第11号議案 横断検索重複検索作業の候補自治体について【協議】

・現時点で依頼は来ていないので、今年度中の実施はない見込み。

・来年度実施可能などところがあるか、各市の状況を調査・打診し、計画をたてる。

(12) 第 12 号議案 多摩デポブックレットについて【協議】

・ 1/20 現在事務局在庫+2012 年 12 月末けやき出版在庫/印刷部数(けやき出版預け)

- ① 41+58/1000(450) ② 122+56/1000(300) ③ 263+27/1400(300)
- ④ 382+44/1200(300) ⑤ 191+56/1000(400) ⑥ 327+54/1000(450)
- ⑦ 469+188/1000(300)

・ 第 8 号編集進行状況と今後の予定について

＊第 8 号編集進行状況

青木先生に整理したテキストを送付しお返事を待っている状況で、今年度中の発行は不可能。

→再度連絡をとり、5 月発行が可能かどうか伺う。講座以降の活動の入れ込みについては、一定の所できりをつけていただき、発行にこぎつけたい。

＊堀越氏・星氏の講演についてのテープ起こしは、録音状態が悪かった星氏の分について、予備機の録音を聞き直して原稿を補ったが、星氏は多忙のため加筆していただくのは困難。堀越氏の話をつくらませる方向とする。

＊来年度は 8 号と 9 号の 2 冊発行とし、2012 年度通常総会パネルディスカッションはブックレットではなく資料集として作成する。

(13) 第 13 号議案 会員拡大について【協議】

図書館員会員の退職が増えており、退職職員の会員継続と現役職員の入会促進の働きかけの両方が必要。

自然減にならないよう、講座講演会等で新しい人を誘う。

現場の状況が厳しい中で、職員が多摩デポ講座に公的に参加できる仕組みを考えながら、現場で役に立つものを提供する、里親探し資料事業のボランティアを募るなど様々の工夫を考える。

(14) 第 14 号議案 2012 年度第 4 四半期の事務局体制について【協議】

・ 第 4 四半期の事務局体制は、人員の状況から当面現状どおりとする。

・ 法人会計を今年度の決算から新様式にするかどうかの問題もあり、会計担当を 2 名に増員する必要がある。→ 検討の結果、今年度決算については旧様式で行うことを了承。平山理事を会計相談役として、新様式への準備を進める。会計担当については引き続き募る。

(15) 第 15 号議案 総会及び役員について【協議】

・ 総会

<日程>5/19(日)

<記念講演会>

・ いくつかの案を検討の結果、国立国会図書館の動向について話してもらうことで準備を進めることに決定。

・ 役員

吉田徹理事より健康上の理由で退任の意向が表明された。慰留の意見が出たが、本人の意向を了承。その他の役員は留任の方向で、新たに堀渡氏を理事候補として総会に提案する。

5 情報交換

・ 神奈川新聞で県立図書館問題についての連載が始まった。

・ 「季刊 collegio」に八王子市図書館の中村氏執筆予定

6 その他

★ 次回の理事会 4月 9日(火) 午後6時半～ 場所未定

☆ 次回の事務局会議 2月18日(月) 午後 6時半～

7 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、手嶋孝典理事と矢崎省三理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2013年2月5日

議長

議事録署名人

議事録署名人